

世界を言語バリアフリーに

QR Translator®

株式会社PIJIN

## キーワード

- ▶ 多言語と音声でユニバーサル対応を実現
- ▶ 様々な媒体に対応
- ▶ QRコードはそのまま内容の変更が可能

## アピールポイント

- ▶ 豊富な導入事例・世界遺産等の海外事例
- ▶ アクセス履歴ダウンロード機能でのデータ活用
- ▶ 日米欧中など世界中で特許を取得済み
- ▶ システムによるテキスト読み上げまたは音源アップロードも可能(ナレーション、BGM、再現音)
- ▶ VRなどの外部サービスやQR Translatorが提供する多言語アンケート機能との連携も可能

※「QR Translator」は株式会社PIJINの登録商標です。  
 ※「QR Translator」の仕組みは日本、米国、中国、韓国、ロシア、欧州等で特許を取得済みです。



読み取った人の携帯端末の設定言語を識別し自動で表示言語を選択します。言語ごとにライティングした文章をいれたり、カスタマイズもできるので、言語別に想定されるターゲットに合わせたアプローチも可能です。



機械読み上げやナレーションのアップロードもできるので、文字を読むのが困難な方にも有効です。

## 《展示施設などの場合》

各解説文を紐づけし、代表となるQRコードを入口看板や入場チケットなどに掲示すれば、各解説板前の人の混雑・密集を緩和できます。



※画像はイメージです。

サービス利用者はQRコードのスキャン位置や言語別のアクセスデータをリアルタイムに地図やグラフなどで視覚的にご覧いただけます。アクセスデータのダウンロードも可能です。

## 導入事例

## ▼ 島根県大田市



文化庁の令和元年度 多言語解説整備事業に採択された「石見銀山多言語解説整備事業」で21箇所の史跡・建造物の解説ツールに採用

## ▼ 奈良市



世界遺産の神社仏閣をはじめとする市内500か所以上に設置、バスの乗り方や写真撮影禁止などの注意喚起にも利用

連絡先

株式会社PIJIN

www.qrtranslator.com

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-6-3 山本ビル別館8F

お問合せ：✉ inquiry@qrtranslator.com TEL：03-4531-9690 / 06-7166-2820